

2026 市勢要覧

人と自然にやさしい
豊かな暮らしを実感できるまち とうみ



とう み し
東 御 市

～人と自然にやさしい豊かな暮らしを実感できるまち とうみ～

■東御市の概要

東御市は長野県の東部に位置し、県都長野市までは約 45 kmの距離にあり、首都東京から約 150 kmの圏域にあります。北は群馬県嬭恋村（約 0.9 万人）、西は上田市（約 14.8 万人）、南は佐久市（約 9.6 万人）や北佐久郡立科町（約 0.6 万人）、東は小諸市（約 4.0 万人）に囲まれ、市域は東西 14.7 km、南北 16.5 km、総面積 112.37 km²です。

標高は 470mから 2,228mと標高差が約 1,750mあり、北側に位置する 2,000m級の山々から流れ下る河川によってつくられた扇状地が重なり合い、北東から南西に傾斜する地形が形成されています。

北には上信越高原国立公園の浅間連峰の三方ヶ峰、湯ノ丸山、烏帽子岳の連山に抱かれ、南には八ヶ岳中信高原国立公園に位置する蓼科山を眼前に見ることができます。

市のほぼ中央部を上信越自動車道と千曲川が東西に通過しており、国道 18 号に沿って隣接市と連なった居住域が分布しています。

気候は、四季を通じて日照時間が長く、気温の日較差が年間平均 10℃以上と大きい準高原的な内陸性気候です。季節感のある豊かな自然や山並みの眺望に優れた暮らしやすい地域で、年間降水量が 1,000 mm前後と全国でもまれな寡雨地帯となっています。



▲東御市役所へのアクセス

■東御市民憲章

東御市は、烏帽子、蓼科をはじめとした雄大な山並み、千曲の清流が織りなす豊かな風土と長い歴史に育まれた美しいまちです。自然の恵みをうけた郷土は、先人たちの英知とたゆまぬ努力によって築かれました。

わたしたちは、このまちに生きることに喜びと誇りをもち、未来（あした）に輝くまちをつくるため、ここに市民憲章を定めます。

- 1 自然を大切にし、環境と調和した美しいまちをつくりまします。
- 1 ともに支えあい、健やかで安心して暮らせるまちをつくりまします。
- 1 思いやりの心を持ち、子どもたちがのびやかに育つまちをつくりまします。
- 1 芸術や伝統に親しみ、文化の薫るまちをつくりまします。
- 1 活力ある産業を育み、若者がつどう豊かなまちをつくりまします。

平成 18 年 10 月 3 日制定

市花 レンゲツツジ

湯の丸高原のレンゲツツジ群落は、市の観光のシンボルともなっており、毎年多くの観光客が訪れます。

レンゲツツジ群落は、昭和 31 年に国の特別天然記念物に指定されています。



市木 くるみ

明治初めから導入され、大正時代には盛んに栽培されました。東御市は、雨が少なく南傾斜で日当たりのよい地形に恵まれ、栽培に最適な環境です。市内には原種木があり、一般家庭でも古くから見られる身近な木です。



市蝶 オオルリシジミ

名前のとおりオスメスともに羽の表面がルリ色の美しい蝶です。

近年では絶滅もしくは激減し、現在では、新潟県、長野県のごく限られた地域と熊本県にのみ確実な生息地が知られています。東御市の天然記念物にも指定されています。



■市章



東御市の頭文字「と」をモチーフに、豊かな自然、人と人の鮮烈な出会いと合併による新市の融合を象徴しています。

橙色の楕円は太陽を、中心の青い弧は千曲川の流れを、そして空色の弧はさわやかな風を表しています。

■シティプロモーションロゴマーク



生産が盛んなくるみやぶどう畑、そして人々の暮らしを照らす太陽を表現しています。マークの中心には市のブランドメッセージである「ほどよく、田舎。とうみ」を配置しており、このメッセージが求心力となり、市の認知度や魅力が広がっていく様子を表しています。

■友好都市、姉妹都市

友好都市

東京都大田区

平成4年に大田区が区民休養施設の建設用地を決定したことがきっかけで、友好都市提携を締結しました。

毎年、9月に東御市で開催する「巨峰の王国まつり」と、11月に大田区で開催される「OTAふれあいフェスタ」では、住民同士が相互に参加し交流を深めています。

姉妹都市

アメリカ合衆国 オレゴン州マドラス市

マドラス市は、オレゴン州の中心的都市ポートランド市の南東約250kmに位置し、人口は約6,000人です。

標高約700mの平坦な農村地帯ですが、郡の中心部であることに加え、幹線道路が交差していることから、小学校4校とミドルスクール、高校があり、生徒は合計で2,700人に及びます。

I 自然と多様な人々が 共生するまち

目指す姿

- ・本市の豊かな自然は、人々にやすらぎや生活に潤いをもたらすものです。
- ・恵み豊かな自然環境を市全体の共有の財産として次世代に繋げるため、市民一人ひとりが自然との関わりを深め、自然環境の保全や整備を市民と行政が協力して取り組み、水と緑に包まれた魅力ある景観が形成された環境と共生した持続可能なまちづくりが行われています。
- ・市民と行政が互いに協力し合って、地球温暖化の防止やごみ排出量の削減、資源物のリサイクル活動が進み、循環型・脱炭素社会の実現に向けた取り組みが進んでいます。
- ・多様性を認め合い、全ての人々が尊重されるまちづくりが行われています。
- ・市民と行政が地域課題の解決に向けて、共に取り組むまちづくりが進んでいます。

○脱炭素社会の推進

- ・再生可能エネルギーの自給自足の推進



▲新滋野児童館に設置した太陽光パネル

○人権尊重・男女共同参画の推進

- ・多様性を認め合い、すべての人が尊重されるまちづくりに向け、正しく知り、学ぶ機会の充実



▲地域づくり懇談会の様子

Ⅱ 共に支え合い、 健やかに暮らせるまち

目指す姿

- ・次代を担っていく子どもたちは、本市の希望を託す宝です。安心して子どもを産み育て、健やかに成長できるように、妊娠期から子育て家庭を支援する環境づくりが進んでいます。
- ・子どもたちが自分らしく豊かに生きることができるよう、安心する居心地の良い環境づくりが進んでいます。
- ・子どもの自主性・主体性・自発性を育む保育が行われています。
- ・安定した医療が受けられ、生涯にわたって住み慣れた地域で安心して生きがいのある暮らしができるよう、健康づくりや生きがいづくりの取組みが進んでいるとともに、保健・医療・介護・福祉の充実したまちづくりが進んでいます。
- ・安心して自分らしい暮らしができるよう、地域の絆を深め、相互に助け合いながら暮らせる、誰一人取り残さない福祉のまちづくりが進んでいます。

○妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援の充実

- ・妊娠期からの包括的な母子保健事業の推進

○子育て・子育てを共に支える地域づくりの推進

- ・子育て・子育てを地域で支える体制の構築
- ・子どもの居場所のネットワークの充実



▲こども第三の居場所「ゆめぼけっと・とうみ」

○生涯を通じた健康増進の推進

- ・ライフコースアプローチを踏まえた健康づくりの推進

○介護予防・高齢者の社会参加の推進

- ・地域に根ざした介護予防活動の推進



▲高齢者日常生活サポート事業イメージ

○地域包括ケアシステムの深化

- ・在宅生活を支える生活支援サービスの充実・強化

○ひとり親・生活保護・生活困窮世帯等の自立支援と生活の安定

- ・権利擁護支援体制の充実

誰もが学び、

Ⅲ 自分らしく輝ける

まち

〈目指す姿〉

・市民一人ひとりが学校や生涯学習を通じた学びによって、自己肯定感を持って暮らすことが重要です。

・児童生徒が健やかに育ち、これからの社会で活躍できるよう、家庭と学校、地域が連携しながら、個性や能力を十分に発揮できる教育環境づくりが進んでいます。

・学校や地域が子どもや家庭に寄り添い、子どもの居場所を創出し、個に応じた支援や教育が提供できる環境づくりが進んでいます。

・生涯を通して自分らしく自発的に学び、学びの成果や知識・技術などを、地域やまちづくりに活かせるよう、生涯学習機会の提供や活動支援が行われているとともに、文化・芸術活動及びスポーツに親しむまちづくりが進んでいます。また、受け継がれてきた郷土の資源や文化財が適切に保存・活用され、愛着と誇りを持ったまちづくりが進んでいます。

○確かな学力、豊かな心、健やかな身体を育む教育の推進

- ・ 東部地区小学校給食センター建設の推進



▲学校給食の様子



▲東部地区小学校給食センター外観パース

IV 魅力と活力があふれる 産業のあるまち

目指す姿

- ・産業振興は市民の豊かな暮らしを支えるとともに、まちの活気やにぎわいを創出する基盤となるものです。
- ・標高差と特有の気候条件などの地域特性を活かした農産物の生産振興を図るとともに、農業基盤の整備・保全・活用と農業後継者の確保・育成を図りながら、産業としての農業が維持・拡大しており、里山を含む民有林が適正に管理され、持続可能で活気あふれる明るい農村づくりが進んでいます。
- ・商工業では既存企業の活力が向上するとともに、市内勤労者の雇用が安定しています。
- ・コロナ禍の影響を受けた観光分野については、地域資源を活かした観光コンテンツの磨き上げが行われ、交流人口や関係人口が拡大しているとともに、地域活性化が進んでいます。

○農業生産基盤の整備と保全

- ・「地域計画」及び「目標地図」に基づいた多様な担い手農家への農地集積・集約の推進

○東御ブランド力の強化と特産品による地域振興

- ・ワイン振興施設を活用した農畜産物のブランディングと販売促進
- ・農福連携を通じたワインのブランド価値の向上

○地域資源を活用した着地型観光の推進

- ・宿泊交流拠点施設の開業を見据えた、多様なツーリズムの創出による滞在価値の向上及び地域経済の好循環化

○観光客受入環境及び観光施設の整備

- ・宿泊交流拠点施設整備事業の推進



▲宿泊交流拠点施設イメージ図

V 便利で安心して暮らせる まち

目指す姿

- ・ 便利で安心して暮らせるまちの基本となるものは、社会基盤の整備と安心・安全なまちづくりです。
- ・ 身近な道路環境の整備や、公共交通の充実、上下水道などの社会基盤が維持され、良質な住環境が享受できるまちづくりが進んでいます。
- ・ 大規模な災害による被害を防ぐため、行政が行う公助とともに、共助としての防災・減災対策に加え、市民が主体となる自助としての防災活動が進み、地域防災力が向上しています。
- ・ 地域防犯活動や交通安全対策などが進んでいるほか、消費生活に関する相談体制が充実し、市民が安全・安心に暮らすことのできるまちづくりが進んでいます。

○安全・快適な道路環境の整備

- ・ 市道県東深井線の歩道設置事業の促進

○公共交通の利便性の向上

- ・ 地域公共交通計画に基づく交通システムの利便性と利用率の向上

○上下水道の維持・管理

- ・ 上水道八重原水系安定供給の推進

○ゆとりある住環境づくりの推進

- ・ 官民連携による空き家の利活用と予防対策の推進

○災害に強いインフラの強化

- ・ ため池を含む農業用施設の耐震・長寿命化の促進



VI 持続可能な選ばれるまち

目指す姿

- ・多様なニーズに対応し、持続可能なまちづくりが求められています。
- ・合併後20年間の取組みの中で積み上げてきた本市の魅力が発信され、認知度の向上や関係人口の拡大及び移住・定住が進み、選ばれるまちづくりが進んでいます。
- ・市民と共にまちの魅力を再発見していく取組みを通じ、その魅力を市民が認知することで、本市に対する誇りと愛着がもてるまちづくりが進んでいます。
- ・情報化の急速な進展に合わせ、デジタル技術を活用した行政サービスの向上や行政運営の効率化が進み、市民の声に向き合いながら、信頼される行財政経営が行われています。

○地域ブランドの構築・発信

- ・地域資源を活かしたシティプロモーションによる地域ブランド力の向上

○U・I・Jターンと定住の促進

- ・働き世代をターゲットとした移住定住施策の推進



▲空き家相談会の様子



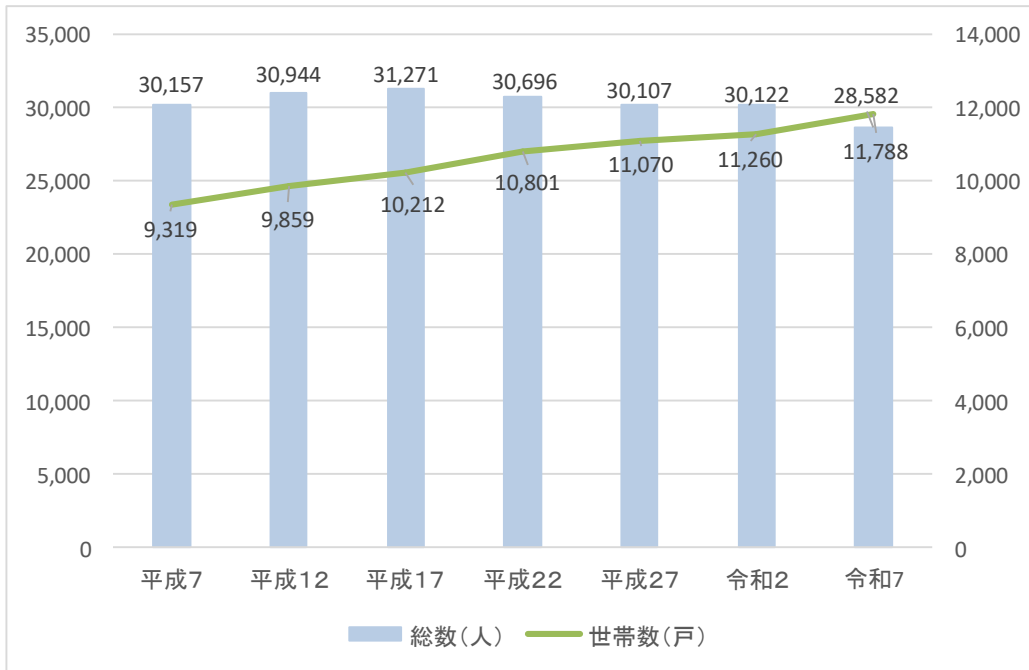
▲移住セミナー(銀座 NAGANO)の様子

■東御市の歩み

- 平成 16 年 ○旧東部町と旧北御牧村が合併し東御市が誕生（4月1日）
○東京都大田区と友好都市提携協定、災害時相互応援協定締結
- 平成 17 年 ○米・オレゴン州マドラス市と姉妹都市協定締結
○東御市農産物加工施設完成
○第1回東御市民まつり開催
- 平成 18 年 ○定時定路線バス、デマンド交通「とうみレッツ号」運行開始
○東御の日、市民憲章・市花・市木・市蝶を制定
○丸山晚霞記念館開館
- 平成 19 年 ○都市計画道路田中牧家線街路工事竣工
- 平成 20 年 ○「とうみ Sun ライズ ワイン・リキュール特区」に認定
- 平成 21 年 ○田中駅南口整備事業竣工
- 平成 22 年 ○助産所とうみ開所
○エフエムとうみ開局
- 平成 23 年 ○秋田県美郷町と災害時相互応援協定締結
- 平成 24 年 ○市役所新庁舎完成、新図書館開館
- 平成 25 年 ○東部子育て支援センター開所
- 平成 26 年 ○中央公民館増改築工事竣工
○市制施行 10 周年
○海野宿滞在型交流施設「うんのわ」オープン
- 平成 27 年 ○市道田中・西海野線「海野バイパス」全線開通
○「千曲川ワインバレー（東地区）特区」認定
- 平成 28 年 ○明神館リニューアルオープン
○東御市民まつりが「雷電まつり」へ改称して初開催
- 平成 29 年 ○湯の丸高原スポーツ交流施設竣工
- 平成 30 年 ○湯の丸高原スポーツ交流施設一部供用開始
○住民票等コンビニ交付サービス開始
○生ごみリサイクル施設竣工
○北御牧庁舎に市民交流サロン・東御市文書館開設
- 平成 31 年 ○ワイン&ピアミュージアム竣工
(令和元年) ○台風 19 号の影響により市内に甚大な被害
○GMOアスリートパーク湯の丸屋内プール竣工
- 令和 2 年 ○GMOアスリートパーク湯の丸屋内プールがJOC認定競技別強化センターに
○台風 19 号災害により通行止めだった田中橋が復旧
- 令和 3 年 ○シティプロモーションロゴマーク決定
○東御市ふるさとPR大使に丸山智己さん就任
- 令和 4 年 ○子どもサポートセンター開設
○総合型地域スポーツクラブSanyTOMI活動スタート
○湯の丸ヒルクライム初開催
- 令和 5 年 ○スポーツ・健康まちづくり優良自治体として表彰
○グランフロント東御湯の丸初開催
- 令和 6 年 ○市制施行 20 周年
○こども第三の居場所「ゆめぼけっと・とうみ」開所
○地域産物販売促進施設「ワインテラス御堂」オープン
- 令和 7 年 ○東部地区小学校給食センター建設事業着手
○「くるみ君の大冒険」がふるさとCM大賞受賞
○海野宿開宿 400 年事業の実施

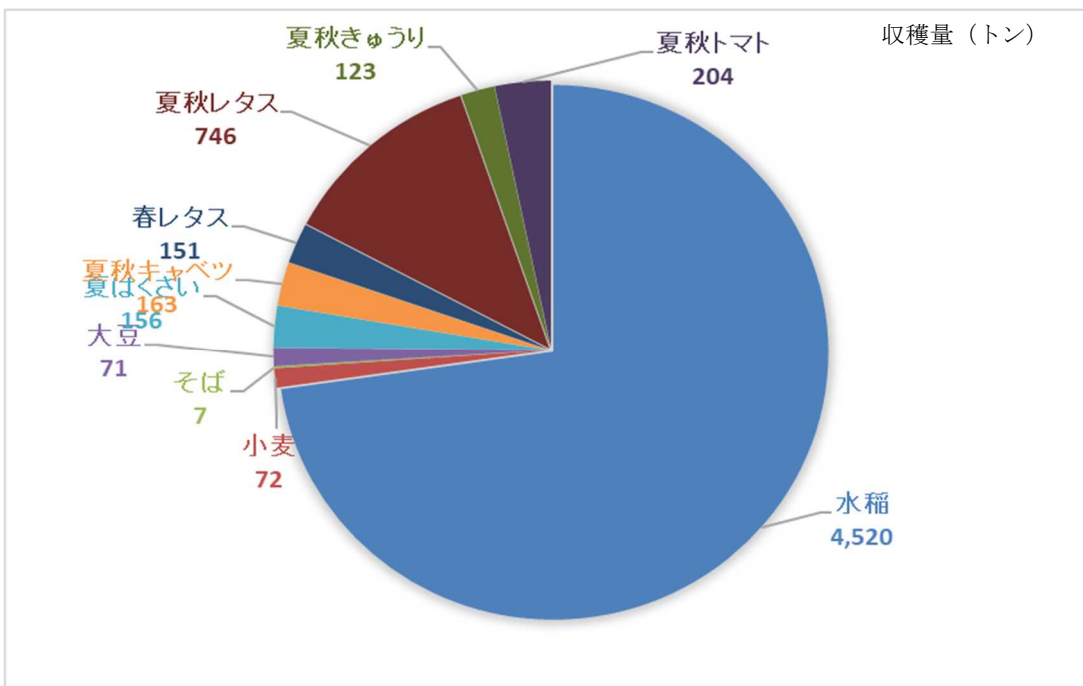
■統計資料

人口と世帯数の推移（国勢調査）

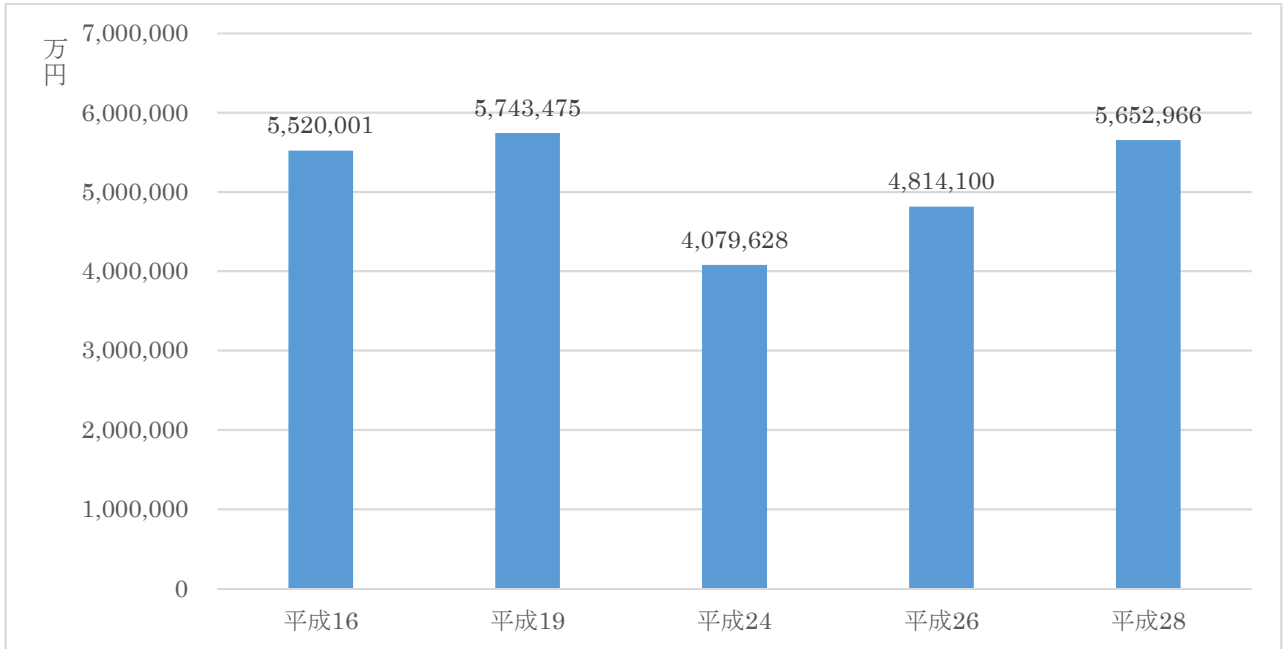


(万円)

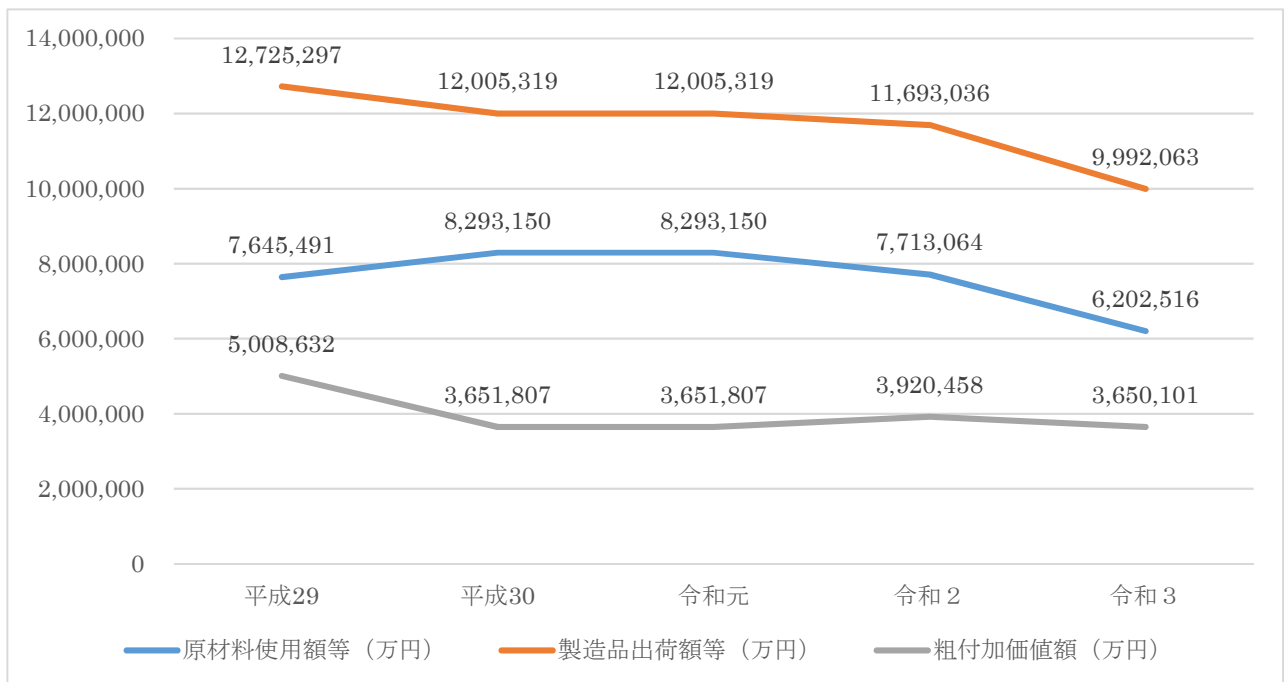
主要農作物収穫量（資料：R5 関東農政局統計部統計企画課「農林水産統計年報・統計資料」より）



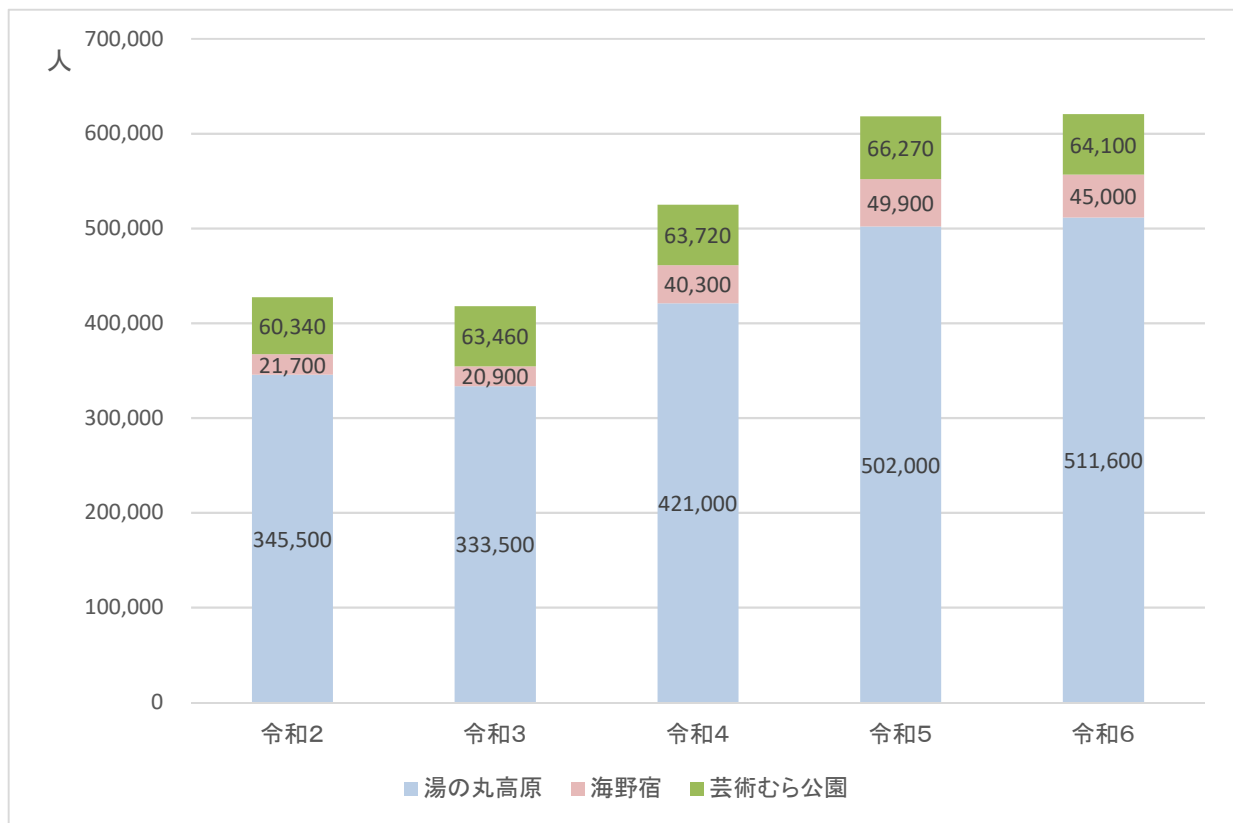
年間商品販売額（資料：商業統計調査）



工業製品出荷額等（資料：工業統計調査）



観光地来訪者の状況（資料：東御市の統計）



財政状況（令和6年度決算）

【一般会計、特別会計】

単位：万円

会計名	収入	支出
一般会計	178億378	170億5,799
国民健康保険	29億4,307	29億433
介護保険	31億2,195	30億6,812
後期高齢者医療	4億8,148	4億6,131

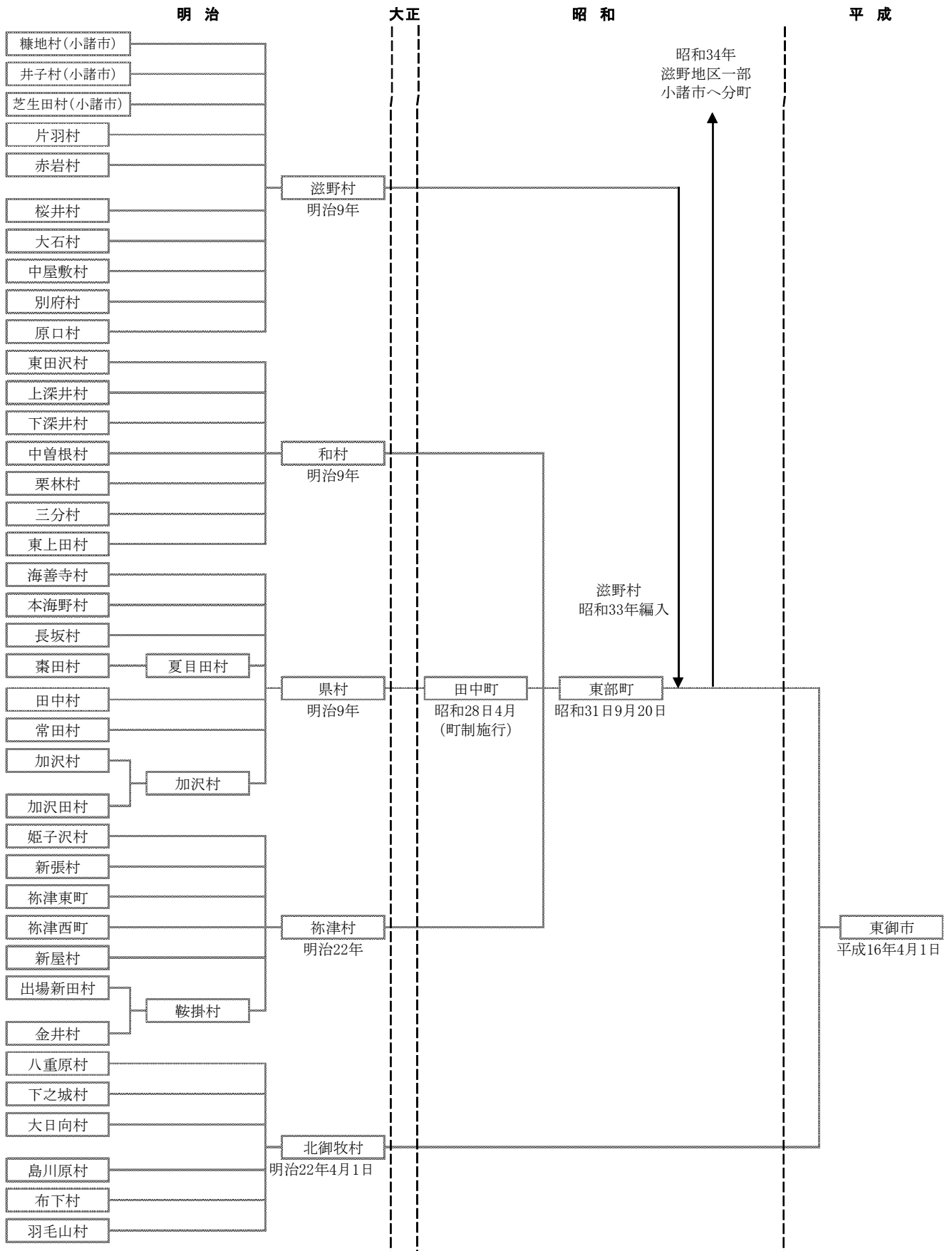
【公営企業会計】

単位：万円

会計名		歳入（収入）	歳出（支出）
水道事業	収益的	6億5,068	5億2,217
	資本的	9,050	3億6,386
下水道事業	収益的	12億7,614	11億3,503
	資本的	5億6,912	9億3,966
病院事業	収益的	21億6,272	22億7,908
	資本的	2億2,510	4億1,678

- ・市債残高 212億5,124万円（一般・特別・企業会計）
- ・基金残高 44億3,391万円（一般・特別会計）
- ・実質公債費比率 9.9%
- ・将来負担比率 25.3%

東御市合併の経過



東御市の主要指標

項目		数 値	期 日
人口		28,827 人	令和7年10月1日
世帯		11,659 世帯	
出生数		136 人	令和7年1月～12月
死亡数		393 人	
婚姻届出件数		83 件	
離婚届出件数		36 件	
転入人口		927 人	
転出人口		937 人	
外国人人口	人口	730 人	
	世帯数	431 世帯	
事業所（民営）	事業所数	1,334 事業所	令和3年6月1日
	従業者数	13,778 人	
総農家数		2,093 戸	令和2年2月1日
農家人口		10,099 人	平成17年2月1日
卸売業・小売業	事業所数	289 事業所	令和3年6月1日
	従業者数	2,251 人	
	年間商品販売額	565 億 3,000 万円	平成28年6月1日
製造事業所	事業所数	100 事業所	令和3年6月1日
	従業者数	3,008 人	
	製造品出荷額等	999 億 2,063 万円	
金融機関店舗数		6 店舗	令和7年12月31日
高等学校	学校数	1 校	令和7年5月1日
	在学者数	280 人	
中学校	学校数	2 校	
	在学者数	759 人	
小学校	学校数	5 校	
	在学者数	1,369 人	
幼稚園	幼稚園数	1 園	
	園児数	65 人	
高等学校等進学率		99.6%	
大学等進学率		22.8%	

項目		数値	期日
図書館 (本館・移動図書館)	蔵書総数	173,269冊	令和6年度
	貸出冊数	142,480冊	
市内道路の実延長	国・県道	81.2km	令和8年1月31日
	市道	643,481m	令和7年4月1日
都市公園	公園数	10か所	令和8年1月31日
	総面積	20.91ha	
しなの鉄道乗降者数	田中駅	728,954人	令和6年度
	滋野駅	241,598人	
自動車保有台数(原付は除く)		30,624台	令和7年3月31日
ケーブルテレビ契約数		4,743件	令和7年4月1日
公立保育所	保育所数	5か所	令和7年12月1日
	園児数	622人	
私立保育所	保育所数	1か所	
	園児数	96人	
国民健康保険被保険者数		5,681人	令和6年度
後期高齢者医療保険被保険者数		5,330人	令和6年度
国民年金加入者数		3,941人	令和7年3月31日
医療施設数	病院	2か所	令和7年4月1日
	一般診療所	14か所	
年間ごみ処理量(資源物含む)		5,625t	令和6年度
年間し尿搬入量		2,146t	令和6年度
上水道総配水量(市営水道)		3,444,839m ³	令和6年度
下水道普及率		100.0%	令和7年3月31日
火災発生件数		17件	令和7年
救急出場件数		1,587件	令和7年
交通事故件数		72件	令和7年
刑法犯発生総数		72件	令和7年
無料法律相談等利用件数		70件	令和7年度
市議会議員数		17人	令和7年4月1日
選挙人名簿登録者数		24,121人	令和7年9月1日
一般会計決算額	歳入	178億378万円	令和6年度
	歳出	170億5,799万円	
市税収入決算額		41億5,910万円	
市職員数		384人	令和7年4月1日